

元気な風がふくまち

ななかま

NAKAMA CITY Public Relations

広報

11

2010
No.878

平成22年11月10日発行

世界を結ぼう

CONTENTS

もくじ

特集

2

「もやいの心で」

人をつなぐ、まちをつくるボランティア活動

健康ファミリー・医療講座	12
市長への手紙	13
人権作文・女性に対する暴力をなくす運動	15
市からのお知らせ・読書感想画コンクール	16
まちのわだい	18
環境・市民協働・消費者相談	20
くらしの情報・無料相談	21
みんなのひろば	24
文芸歳時記	26

表紙の説明は26ページをご覧ください

特集

もやいの心で



特集

もやいの心で

「困っている人を助けたい」。

「だれかの力になりたい」。

「このまちをもっと好きになりたい」。

そんな気持ちから始まる

ボランティア活動。

なにも特別な人が行う

活動ではありません。

物質的な豊かさよりも

心の豊かさが求められる現在、

ボランティア活動は

大きな広がりを見せています。

相手を思いやる気持ち。

郷土を愛する心。

時代の流れとともに

失いつつあるものを

取り戻すために――

●写真説明

市内を花でいっぱいにし、美しい景観を誇る中間市をめざすために活動している「中間市を花いっぱいにする会」。花の手入れをするという楽しみとは別に、会員同士が顔を合わせて話をするという楽しみを持ちながら日々活動しています。

要

人のためなのか
社会のためなのか
自分自身のためなのか
中間市のまちづくりに欠かせない力がある。

中間市のボランティア活動

中間市では、厳しい財政状況、少子・高齢化など、さまざまな課題を抱えているのが現状です。また、高度化・多様化する住民ニーズに、公平性や中立性を原則とする行政だけでは、きめ細かな対応が極めて困難な状況になっています。

そのような中で、中間市では福祉、健康、環境、教育、防犯、防災など地域や社会の課題に、町内会や町内公民館などの主に地縁を基盤として活動する「地

【協働のまちづくりに向けて】

平成 21 年 12 月、協働型社会の実現に向けて、より一層市民協働を広め、実行性を高めていく方策などを具体的にまとめた「中間市市民協働のまちづくり基本方針」を策定。この中で、中間市のまちづくりに、地縁団体や志縁団体による活動の重要性が明記されています。



縁団体」や、分野・テーマを定めて活動するボランティア団体などの「志縁団体」が取り組んでいます。これらのみなさんは、市民と行政との協働のまちづくりを進める中間市にとって、パートナーと言えるのです。

始めるきっかけは自由

ボランティア活動は、自分の興味があることに自分の意志で参加できるものです。

以前は「人や社会のために役立つことをする活動」と認識されてきたボランティア活動も、最近では個人の自己実現の場であったり、社会参加の場であったり、人間的成長の場であったりと多くの意味を持ち始めています。

さらには、活動を通じて「友人や知人が増える」といった新たな人との出会い・つながりの場になっています。

まちづくりに直結する



9月26日、ハビネスなかまで開催されたボランティア祭。この日もたくさんのボランティアのみなさんが集まりました。

ここで一つ例を挙げてみましょう。例えば地域で行っている清掃活動。清掃ボランティアや地域の人が自分たちの住む地域をきれいにしようと取り組んでいます。

もしそれを行政だけで市内全域を行うとしたらどうなるでしょうか。多額の税金が使われることになり、ほかの必要な住民サービスができなくなります。これは清掃活動だけに言えることではありません。子育てや福祉など、さまざまな場面でも同様のことが言えるのではないのでしょうか。

直面する高齢社会、さまざまな課題を抱え厳しい財政状況の中で、これからの中間市のまちづくりを考えたとき、ボランティア活動の力は欠かすことのできないのです。

「ボランティア」
「もやい」って何



■ ボランティア

自由意思に基づく奉仕活動や労働、およびそれに携わる人のことです。活動の原則としては、「自発性」「無償性」「利他性」「先駆性」に基づく活動とされています。

無報酬でのものを指すことが多いですが、有償であってもかまわないとされています。

■ もやい

もともとは、「船をつなぐこと」「共同であることを行う」と意味です。

近年では困ったときはお互い様という精神のもと、「助け合い」「人の心と心をつなぐ」という意味で用いられています。

結



便利で豊かになった現在の社会。
その代償として失いつつあるものがある。
ボランティアを通じてつながる人と人。
そしてそこには「結ぶ」ものがある。

つながることの大切さ

「困っている人の力になりたい」「自分たちが住む中間市をよりよいものになりたい」など、活動するその思いは、人それぞれ異なるでしょう。

時代の流れとともに顕著になってきた、人間関係の希薄化、地域への関心の低下。隣人にさえ無関心な人がいる時代だからこそ、周囲の人を思いやる気持ち、助け合いの精神は大切なのです。

相手を思いやる気持ちで、相手の気持ちを素直に受け入れることにより、お互いが心豊かになるものです。

また、元気に活動する姿に魅せられ、賛同し、「私もやってみたい」と思う人がいるのではないのでしょうか。

ここで共通して言えること。それは「つながる」ということです。

共通の目的を持つ人々が集い、つながっていくことで、ボランティアに携わる元気な人がどんどん増えていくのではないのでしょうか。地道な活動であっても、確かな中間市の未来へのまちづくりとなります。

ここでは、「ボランティア活動が結ぶもの」をキーワードに、確固たる思いを持って活動する三つの団体を紹介します。



気持ち

中間手話の会

聴覚障害者に情報提供しながら、お互いに学びあい活動している中間手話の会。

「何か手助けできれば」という思いから、初めて手話を学ぶという人も多く、聴覚障害者を講師として会員27人が楽しみながら手話を学んでいます。

会員のみなさんは、手話を学ぶことで聴覚障害者と会話ができ、お互いの気持ち次第にわかっていくことに喜びを感じると言います。

手話を学ぶことよりも交流することが何より大事。手話がお互いの気持ちを結ぶ懸け橋となっているのです。



楽しみながら手話を学びます。みなさん講師に注目。

Interview

聴覚障害者の友人ともしっかりコミュニケーションが取りたいと思ったことが手話を学び始めたきっかけです。手話を学び始めて、聴覚障害者に対する私自身の壁がなくなり、街中で初めて会った人とでも手話を通じてつながることができていると感じます。



渡邊 美由紀 さん
(扇ヶ浦三丁目)

ほたる・メダカの飼育を通じて、環境保全を推進しながら「住まいのふるさと」「思い出のふるさと」づくりに努める中間ほたる・メダカの会。夢は中間市に、ほたる・メダカを定着させ、遠賀川・曲川・堀川・山田川などの河川へ拡大すること。さらに、子どもを会員を増やし、世代交流を深めながら、生涯学習やまちづくりに協働貢献することだと言います。



「曲川源流水辺の里」で行われる、ほたるの幼虫の放流会。



郷土愛

中間ほたる・メダカの会

Interview

平成18年1月に中間ほたる・メダカの会を発足しました。併せて「クコ」の植栽を行い、中間市の特産とする活動や遠賀川の鮭放流も行っています。子どもたちには、中間市に誇りを持ち、郷土愛（愛国心）を持ってほしいと思います。



沖羽 稔 さん
(朝霧二丁目)

おもちゃ遊びをとおして、感覚を主とした発達援助、遊びによる子どもと親の育ちあいなどを目標に活動している、なかまおもちゃライブラリー「ポップポ」。手遊びや大型紙芝居、読み聞かせなどを行っています。基本的におもちゃは手作り。子どもたちがけがをせず、五感を活用しながら遊べるものを作っていると言います。



和気あいあいとした雰囲気、おもちゃを一つひとつ手作り。



温もり

中間おもちゃライブラリー「ポップポ」

Interview

おもちゃは優しく、温かく、人と人をつないでくれます。子どもたちには、手作りの温かさを知ってもらい、おもちゃを大事にすることから、人を大事にすることを学んでほしいです。障害がある子どもも、心豊かに過ごせる中間市になってほしいと思います。



菊田 信子 さん
(太賀三丁目)

集

活動する姿に魅せられ人は集う。
強い思いは伝わっていく。
志を同じくする者たちが集う活動が
ここにはある。



回を重ねるたびに参加者が増え、そこには人の輪が生まれた。

みなさん、曲川清掃をご存じですか。この活動は、今から6年ほど前に、自転車の不法投棄が目立つなど、曲川が汚れていることに気づいたボランティア団体が、自分たちが住む環境にある曲川をきれいになりたいという思いから始めたものです。

10人ほどで始まったこの活動は、賛同する人が徐々に増えていき、今年5月の実施時には参加者は200人を超えました。昨年度には、曲川を都市公園化したという強い思いから「曲川を守る会」を設立。同会の池田久紀会長は次のように話します。

「曲川近隣の人だけでなく、市内全域から市民・企業・学校・行政など多くの人が参加してきています。みなさんが集まってくれているのは郷土の曲川に興味を持ってきている証拠だと思います。曲川の源流では、ほたるを飛ばそうと熱心に活動しているみなさんがいるからこそ、下流もきれいにしないとイケないという思いです。昔の曲川は現在に比べ、ビンやカンなどの不法投棄も少なく、水遊びをする子どもたちもいたほどきれいな川でした。年月を経て、一時期は汚れていたこともありましたが、少しずつですが昔のような美しさを取り戻しているのではないのでしょうか。この曲川清掃に加え、さくら保育園・北小



池田 久紀 さん(中央四丁目)

学校・北中学校で組織される「ほくほくゆめネット」の清掃活動や河川浄化のためのEMだんごの投入など、私たち市民にできることと行政にできることがあります。これからも行政との協働で、子どもが水遊びできるような自然に親しめる都市公園にしていきたいです。

曲川をきれいにしたいという池田さんたちの熱意が、活動する姿を通じて伝わった結果、多くの人の心を動かしたのではないのでしょうか。

次ページでは、活動に参加している団体のうち、三つの団体に話を聞きました。



EMだんごの投入。



ほくほくゆめネットの清掃

Assemble



山根 寛志 さん(垣生)

愛着ある地域へ貢献したい

東罐マテリアル・テクノロジー株式会社九州工場

環境マネジメントシステムISO 14001を認証取得した年に曲川清掃が始まり、それ以来参加しています。事業所周辺のごみ拾いなどはしていましたが、もっと大きな地域で貢献したいと思ったことがきっかけですね。「奉仕の精神を団体的に発揮する」

という会社の方針のもと、従業員に環境への意識付けを行うことも参加理由の一つです。

事業所が市内にあり、中間市出身の従業員も多いことから、今以上に中間市に愛着を持ち、貢献できるような取り組みを続けていきたいです。



毎回欠かさず参加している従業員のみなさん。



香月 翔太 さん(深坂一丁目)

人とのつながりが大切

希望が丘高等学校総合ボランティア部

父の影響で、もともとボランティア活動には関心があり、ボランティア部に入部しました。

この曲川清掃だけに限らず、ボランティア活動は、参加することで多くの人と出会い、ほかの団体のみなさんとつながりができるものです。

ボランティア活動はやりがいを感じます。

しかし、それ以上に人と人とのつながりの大切さを改めて知ることができるものだと思います。これからも自分ができ限りのことを続けていきたいです。



洞まであるゴム長靴を履き、率先してごみ拾い。写真は昨年の様子。



黒瀬 剛 さん(長津一丁目)

ふるさと中間市をよいまちへ

株式会社黒瀬建設

消防団で参加したことがきっかけで、地域のみなさんと密着した活動を行おうと、昨年からは会社全体で参加しています。

私は中間市で生まれ育ち、幼いころはよく曲川で遊んでいました。これまで曲川の様子を見てきましたが、

最近ではずいぶんきれいになったのではないのでしょうか。

今回、消防庁から消防団協力事業所の認定を受けました。考え方は消防団と同じ。ふるさと中間市を安全で美しいまちにしていきたいという思いですね。



川に捨てられていた自転車を、数人で懸命に引き上げました。

「きれいな曲川に」という一つの目的に向かい、市民・企業・行政のさまざまな世代が参加するこの曲川清掃は、中間市がめざす協働のまちづくりの一つの形と言えるのではないのでしょうか。

よりよい中間市づくりのためには、地域の課題に対し、市民と行政がお互いの得意分野を生かしながら、手を携えながら取り組むことが大切です。

中間市には、市民活動を行っている多くの団体や個人がいて、活躍する姿に触れるたび、頼もしく感じていますよ。

それぞれの活動が、最初は小さな一歩であっても、大きな流れを作っていく、中間市のまちづくりへとつながっているかと確信しています。

Interview 総合まちづくり課 市民協働係に聞く



村上 智裕 係長

探

ボランティア活動で感じた思い。
その背景にあるもの。
それぞれが別々の活動に励む、
一組の夫婦の思いを探る。



●なかぎひろし
「なかまの環境を良くする会」「中間
ほたる・メダカの会」に所属し、主に
環境ボランティアとして活動する。

Interview

中垣 洋さん × 中垣 美子さん (通谷五丁目)

ボランティア活動を始めたき
っかけは？

洋 環境カウンセラーの資格
を持っていたことがきっかけ
で、「なかまの環境を良くす
る会」で活動することになり
ました。定年退職を迎えたと
きのことでした。

美 昭和44年に中間市に移り住
んで、文化的な活動をしたい
と思っていました。
当時、小学校のPTA活動
をしていましたので、昭和53
年にお母さんたちと「児童合
唱団コールなかまジュニア」を
設立したことがきっかけです。

ボランティア活動をとおして
感じたことは？

洋 恥ずかしながら、仕事をし
ていたときは地域のことは何
も知らず、町内会の行事に参
加する程度だったんです。

活動するようになってから
は、多くの人に支えられて地
域に溶け込むことができまし
た。ほかの団体とのつながり
もでき、いろいろな分野のボ
ランティアがあること、そこ
に携わる熱心な人が大勢いる
ことを知りました。

何より活動を始めて、視野
が広がったと思います。仕事
をしていたころは、会社関連
の組織しか知りませんでした
が、地域を支え助け合う組織、
歴史的にまちをつくってき
た組織があることを知りまし
た。人間関係の幅も広がしま
した。これらは私にとって大
きな刺激でもあります。

美 活動でいろいろな場所を訪
れますが、なつかしい人との
再会もあれば、新たな出会い
もあります。積極的に活動し



昨年開催された「なかまの環境を良くする会」が主催の
市民環境講座で、同会トータルアドバイザーとして講師
を務める洋さん。



平成 16 年には、中間混声合唱団ドレミの積極的な社会活動が、高齢者の社会参加活動の模範であると認められ、内閣府から社会参加章が贈られました。



●なかがきよしこ
「児童合唱団コールなかまジュニア」「混声合唱団もみの木」「混声合唱団ドレミ」に所属し、主に合唱指導・音楽療法ボランティアとして活動する。

ていると支援してくれる人たちが現れてくるし、そこから人と人とのつながりができていくんですね。

私自身、もつとできることはないだろうかと考え、音楽療法を取り入れようと音楽療法士の資格を取得しました。

特に特別支援学校の生徒・児童たちへの音楽療法支援は、共に自分を成長させることにもなっていると思います。毎日が学びです。

お二人にとってボランティア活動とは？

洋 自分が得意なことを地域に生かしたいっていう思いから始まるものだと思います。

それに、ふるさと中間市のことを考えるきっかけになるのではないのでしょうか。

私たち夫婦はお互い違う分野で活動していますが、活動している中間市という地域社会は同じです。「元氣な風がふくまちなかま」とは、一人ひとりが活性化していくことだと思います。

美 個人の自己啓発だったり、生涯学習だったり、社会参画だったりすることから始まるんだと思います。私にとっては趣味として始まり、会のみ

なさんと一緒に生涯学習をしているその延長線上にボランティア活動があるんだと思います。だから私には、あまりボランティア活動をしているという意識はないんです。

中間市は、人と人がふれあえるちょうどいい規模だと思うんです。コンパクトだからお互いの活動がよく見えるんですね。

ボランティア活動って人と人がつながっていきますし、その活動は地域に還元されていきます。活動している本人にも、活動の場所である中間市にも財産になっていくのではないかと思います。



なかまスポーツフェスタ 2010 で合唱する「中間混声合唱団ドレミ」のみなさん。老人福祉施設など、要望があればどこへでもすてきな歌声を届けます。

問

盛んに行われているボランティア活動。
その活動がもたらすものとは。
専門的な立場からの見解を聞く。

活動者にもたらすもの

ボランティア活動は、「人やまちの役に立ちたい」という個人の思いが満たされる社会的な自己実現の場であり、自分自身の生き方を見つめる場でもあります。

また活動を通じて、テレビや本などでは得ることができない知識が身につくほか、多くの人と出会い、ふれあい、つながること、自分が未知

の世界を知ることができ、自身の視野が広がるでしょう。

ボランティア活動に携わるとさまざまな壁にぶつかることも多いですが、そこで悩んだり、考えたりして、壁を乗り越えるために努力すれば、問題解決能力を高めることができます。

もちろん、ボランティア活動は見返りを求めないことが前提です。しかし一生懸命活動することで、結果として知



NPO法人NPO九州理事

今村 晃章 さん

■プロフィール■

ボランティア団体の運営相談を中心に活動中。近年は各地でボランティア関連の講演活動を行うほか、福岡県NPO・ボランティアセンターの専門相談員としても活動する。相談者と共に悩み、共に考え、相談者自身の気づきを大切にする相談を信条としている。社会福祉士。



小中学校、老人保健施設などで活躍する「ロゴス腹話術」。

ハピネスなかま内にあるボランティアセンター。ここでは、NPO法人・ボランティア団体・市民活動団体の登録や紹介、ボランティア相談受付などを行っています。

ここで、ボランティア登録しているみなさんをほんの一部ですが紹介します。



もっと身近に
ボランティアセンター

人との出会い、つながりから 生まれるものは宝物

編集を終えて

今回、志縁団体と呼ばれるボランティア団体のみなさんに取材をさせていただきました。

いろいろと話を伺う中で、幾度となく耳にした「つながり」「ふるさと中間市」という言葉。みなさんは活動する中で、社会的な問題となっている「人間関係の希薄化」「地域への愛着の薄れ」というものを肌で感じているのでしょうか。

こんな時代だからこそ、好きなことや得意なことを生かして、新たな人とのつながりができるといふことほど、すばらしいことはないのではないのでしょうか。

活動の分野は多岐に渡っていますが、向かっている先はきっと同じ。人のため、自分のために活動していたとしても、結果として中間市に住む人と人とのつながりを生み、まちづくりに大きな力としてつながっているものだと思います。(謙)

識や経験となって自分に返ってくるのです。

地域社会にもたらすもの

小さなことでも困っている人がいたり、問題になったりすれば、解決に向けて自ら先駆的に動き出す活動がボランティア活動です。この活動には、まだみんなには見えていないような、潜在化したニーズを引き出す力があります。

活動で得たニーズや知識、情報を広く発信してみんなで共有し、「さらに問題を解決したい」「ニーズに応えたい」という思いを共感してもらうことで、活動が広がっていきます。そして何より、住民のニーズに住民が応える、つまり住民同士の助け合いが広がる。「自分たちのまちは自分たちで」という住民自治の意識が芽生えるのです。

これからのボランティア活動

人間は一人では生きていけないからこそ助け合うのです。しかし、それがいつしかもたれ合い、その依存関係もやがて限界となって「関係が切れてしまう」「人と人とのつながりが希薄になる」というのが、今の社会ではないでしょうか。

まちづくりにおける住民と行政の関係も同じことが言えます。どちらも自身の役割を主体的に果たし、お互いに依存し合うことなく自立(律)していかなければ、お互いを支え合う本当の意味での協働にはなりません。

ボランティア活動には今、希薄になってしまった人と人、人と社会をつなぐ橋渡しとしての役割が求められています。その活動によってもたらされるもの、生まれるものは、決してお金では買えない宝物なのです。

ボランティアをもっと知りたい人やまちづくりに興味がある人は、気軽にお越しください。自分の趣味や特技を生かせるものが見つかるといいかもしれません。

- 開館時間 午前8時30分～午後5時15分
- 休館日 毎週月曜日、年末年始
- 問合せ (246) 2184



書道を教える田上政昭さんと馬場喜代子さん。



デイサービスセンターで演奏する「ハーモニック・バルと青い鳥」のみなさん。

日常生活の中で「このようなことをしてはどうだろう」、「こんな施策はどうだろう」と感じているご意見やご提案をお待ちしております。中間市では、明るく活気あるまちをめざし、みなさんの声を今後の市政運営の参考とさせていただきます。内容によっては、広報なかまなどに公表させていただくこともあります。

みなさんの声をぜひお聞かせください。お待ちしております。

※お手数ですが80円切手をはって、ポストに入れてください。

●問合先 総務課広報広聴係
☎(246)6271

こんなまちに住みたい、あんなまちにして欲しい

市長への手紙



お手数ですが
80円切手を
おはりください

中間市中間一丁目1番1号

中間市長 松下俊男 行

809-8501





■直接お渡しいただく場合は…

二つ折にして、中間市内公共施設の窓口でお渡しください。

■郵送していただく場合は…

外枠にそって切り取り、ご意見欄(裏面)を内側にして折って、縁をのり付けします。80円切手をはって、ポストに入れてください。

●件名

Lined area for writing the subject of the letter.

Lined area for writing the main body of the letter.

Q上記内容に対する回答

- 希望する (ご住所とお名前は必ずご記入ください)
- 希望しない

Qお寄せいただいた内容によっては、広報なかまなどで広く市民のみなさんに紹介していきたいと思えます。なお、掲載する場合は匿名で紹介します。

○掲載について 可 ・ 不可

あなたの

ご住所 〒	
お電話 ()	
お名前(フリガナ)	
年 齢	性 別 男 ・ 女

※ご記入いただいた個人情報は、内容の確認や回答のために使用します。

のりしろ

のりしろ

子どもたちの瞳に映るもの

「だれもが住みやすいまち」

加藤 駿 さん
(中間西小学校5年)

平成21年度小・中学校人権作文から

夏

休みのある日、ぼくは、お母さんといこの家族といっしょに出かけることになりました。いとこの中に赤ちゃんがいて、ぼくがベビーカーをおすことになりました。ぼくは、最初は、ベビーカーをおすのは、かん単だと思っていたけれど、色々こまったことが起こりました。

まず一つめは、階段が使えないことです。駅のホームでエレベーターをさがしたけれど、見つからなくて駅員さんに聞きました。エレベーターは、一番遠いおの方のところにありました。使にくいなと思いました。

二つめは、ふみきりを通るとき線路の、みぞにタイヤがはまって動かせませんでした。お母さんが助けてくれたけど、ぼく一人だったら電車にひかれていたかもしれません。

三つめは、坂道です。まず、上り坂は、ベビーカーが重いか

らなかなか進まなくて大変でした。下り坂は、ベビーカーから手を放すと転がってしまいそうです。上り坂よりしんちようようにいかないといけませんでした。

四つめは、点字ブロックは、もともと目のふ自由な人のために作られたものですがベビーカーにとつては、のりごちが悪いと思います。

最後は、電車をおりるときです。車しようさんがベビーカーをおるすのを手伝ってくれたので助かりました。最初はただ車しようさんが立っていただけだと思つていましたが、手伝ってくれるとは、思わなかったのでびつくりして、とてもうれしい気持ちになりました。

ぼくは、今回の体験をとおして自分一人で行動していたら気づかないことにたくさん気づきました。階段も、ふみきりも、点字ブロックも、ふべんだと思つたことはなかったけどベビーカーや車いすの人にとつてはこれらの一つひとつが行動をするたびに気にしなければならぬことになりました。

もつとしようがいがある人や赤ちゃんやお年よりなどに住みやすいまちになったらいいと思います。そして、電車の車しようさんみために、だれかこまっている人がいたら助けてあげたいと思いました。

11月12日から25日まで

女性に対する暴力をなくす運動

DV(ドメスティックバイオレンス)やセクシュアルハラスメント、ストーカー行為など、女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するもので決して許されるものではありません。

殴る蹴るの身体的な暴力だけでなく、怒鳴る、脅す、電話や外出を制限するなどもDVにあたります。

DVなどでお悩みの人は、一人で悩まずに相談ください。そして、あなたのまわりに暴力を受けている人がいたら、相談窓口を教えてあげてください。

●相談窓口

- 人権男女共同参画課
☎(245)7801(平日・午前8時30分～午後5時15分)
- 宗像・遠賀保健福祉環境事務所遠賀分室
☎(201)2820(平日・午前8時30分～午後5時15分)
- 女性相談所
☎092(716)0424(夜間は午前零時まで)

全国一斉女性の人権ホットライン強化週間

DV、セクシュアルハラスメント、ストーカー行為など、悩みや困りごとに人権擁護委員と法務局職員が無料で相談に応じます。

秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

- 期間 11月15日(金)～21日(木)
- 時間 午後8時30分～午後7時
※土・日曜日は午前10時～午後5時。
- 電話番号 ☎0570(070)810(全国共通ホットライン)
- 問合せ先 福岡法務局人権擁護部
☎092(832)4311

平成23年4月からの保育所入所申込受付が始まります

●問合先 こどもと福祉の課
☎(246)6248

保育所は、児童福祉施設です。幼稚園とは違い保護者の事情で家庭で保育することができない子どもが入所する施設です。
子どもの保育の基本は家庭です。保育所は、保護者に代わって一時的に子どもを保育するところです。
子どもの健やかな成長のため、保護者は保育所と十分に連携を取り合って、子どもの成長を見守ってください。

平成23年4月からの保育所入所申込受付を行います

●保育所入所基準 保護者や同居の16歳以上65歳未満の祖父母、親族、同居人が：
○会社勤務、自営業など仕事に従事している
○病気や障害などで、保育が困難
○就学や、就労のための研修を受けている
などにより、家庭で保育してもらえない子どものみ入所が可能です。

●提出書類

1. 保育所入所申込書
2. 保育所入所申込補助表
3. 勤務等証明(申告書)
4. 平成22年分源泉徴収票



または確定申告書の控え
※上記1〜3の書類は12月1日頃からこどもと福祉の課で配布します。
※上記以外の書類が必要な場合もあります。
●受付期間 12月10日(金)〜平成23年1月11日(火)
※土・日曜日、祝日、年末年始(12月29日〜平成23年1月3日)は除きます。
●受付時間 午前8時30分〜午後5時15分
※12月21日(火)と平成23年1月7日(金)は、午後8時まで受け付けます。
●受付場所 こどもと福祉の課子育て係(市役所1階)
※現在、保育所入所児童がいる家庭は、各保育園を通じて連絡しますので、新規入所児童も併せて保育園に提出してください。

市民図書館が9月に募集した「読書感想画コンクール」には、市内の小学生から189点の作品が寄せられました。たくさんの応募作品の中から金賞6点、銀賞12点、入選24点が選ばれ、10月28日から11月7日まで市民図書館で展示されます。ここでは、金賞作品を紹介します。

小寺竜童さん

中間北小学校3年2組



Title

かいじゅうじまのなつやすみ

Author 風木一人

かいじゅうじまは、かいじゅうたちのふるさと。世界中で暴れまわっているかいじゅうたちが、年に一度帰ってきて、夏休みを楽しみます。ざっぱーん!ぎやうおーっ!どっぱーん!ほら、かいじゅうたちが帰ってきました…。

松尾洗樹さん

中間東小学校2年2組



Title

とべないほたる

Author 小沢昭巳

大きな月とたくさんの星が光る夜、ほたるの子どもたちがいっせいに生まれました。でも、そのなかに、羽がちぢんでいるせいでとべない子がいて…。ほたるたちの友情物語。

谷本莉彩さん

中間西小学校1年2組



Title

くまの子ウーフ

Author 神沢利子

ほくは、くまの子。うーふーってうなるから、名前がくまの子ウーフ。遊ぶのが大好き、なめるのと食べるのが大好き。それから、いろんなことを考えるのもね。どんなことかって?うーふー。



Topic & Information

ポリオ(小児マヒ)の 予防接種を行います

- 日 時 11月30日(木)・午後1時15分～2時
 - 場 所 保健センター
 - 持ってくるもの 母子健康手帳、予診票
 - 対象児と接種方法 0歳3か月～7歳5か月の子に41日以上の間隔をあけて2回接種
 - 料 金 無料
 - 次のような子は接種できません
 - 発熱している子(37.5度以上)
 - 下痢をしている子
- ※最近かかった病気や当日の体調などにより、接種できない場合があります。
※予診票は保健センター、健康増進課、東部出張所に準備していますので、事前にご記入ください。
※パンフレット「予防接種と子どもの健康」をよく読んでください。

●問合せ先 保健センター☎(246)1611

献血にご協力ください

- 移動献血車がやって来ます。慢性的に生血が不足していますのでご協力ください。
- 日 時 11月24日(日)
午前9時～11時30分
 - 場 所 市役所正面玄関横
- 問合せ先 こどもと福祉の課☎(246)6270

福岡県内で交通事故が多発しています。
中間市でも残念ながら10月に死亡事故が1件発生しています。
交通量が増える年末に向けて、改めて交通マナーを確認し、交通事故の被害者を増やさないようにしましょう。

■夕暮れや夜間は、明るい服装、早目のライト点灯を心がけよう
■すべての座席のシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しよう
■飲酒運転は絶対しない、させない、同乗しない

- 日 時 11月18日(木)・午前10時30分～11時30分
 - 場 所 なかまハーモニーホール
 - 参加対象 1歳6か月～4歳の子どもとその保護者
 - 参加料 無料
 - 持ってくるもの お茶、運動のできる服(ジーンズ・ボタンのある服は不可)、運動のできる靴
- ※参加希望者は当日、直接会場までお越しください。
※当日、くるり広場は午前中閉館し、正午から開館します。

守ろう交通マナー STOP 飲酒運転

●問合せ先 総(合)まちづくり課
☎(246)2017

親子エアロビクスを開催

●問合せ先 子育て支援センター
☎(245)5557

読書感想画 コンクール

福田翔吾さん
中間北小学校6年2組



Title

孤島の冒険

Author ニコラーイ・ヴヌーコフ

海洋生物調査船のデッキから大波にさらわれた14歳の少年サーヤ。泳ぎついた島は無人島。雨や嵐、飢えや孤独、おそいかかる試練にどう立ち向かうのか。実話をもとにくり広げられる冒険物語。

薄田恵伍さん
中間東小学校5年3組



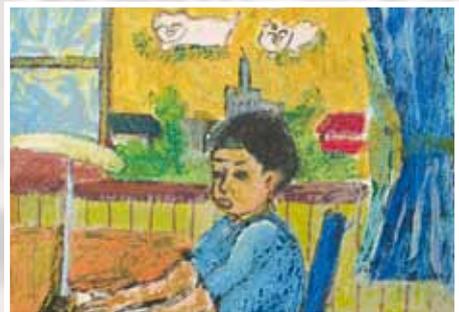
Title

魔法の夜

Author ドミニク・マルシャン

魔法使いにかなえて欲しい願いはたった一つ。住む家もない老人についてくる子犬。パンを分け合い、話を聞かせていると、その子犬は魔法使いであることを告げます。老人が願ったことは、子犬にとって…。

藤井勇輔さん
中間南小学校4年2組



Title

はれときどきぶた

Author 矢玉四郎

少年・則安が自分の日記を母親に読まれてから母親を驚かすべく、明日日記なるものをつけるが、日記に書いたことが現実になってしまう。

ま ち の わ だ い

来場者の熱視線を浴びて

10月17日・第32回筑前中間やっちゃんれ祭

第32回筑前中間やっちゃんれ祭が中間西部市場で開催されました。ステージイベントや青果、魚介の販売などもあり会場は大勢の人でにぎわいました。今年は、市内6小学校区ごとに手作りした「子ども山笠」を初披露。来場者から温かな拍手が起こる中、山笠をかつぐ子どもたちは、元気よく会場内を練り歩きました。

このコーナーでは楽しいイベントや地域の話などをお届けします。



強豪ひしめく中での優勝

福岡県民体育大会秋季大会弓道競技で優勝

9月19日に、「スポーツフェスタ・ふくおか 第53回福岡県民体育大会秋季大会弓道競技」が八女市弓道場で開催されました。中間市代表として一般女子の部に出場したみなさんが、県内から30の団体が出場する中で、見事優勝。9月28日、一体となって優勝をつかんだみなさんが松下俊男市長に喜びの報告をしました。

新たな競技で白熱

10月10日・なかまスポーツフェスタ2010

例年の市民体育祭に変わり、体育文化センターを中心に行われた「なかまスポーツフェスタ2010」。今回から新たな競技として、「キンボール」「バタンク」「綱引き」が取り入れられました。各町内、団体から選抜された選手たちが、白熱したゲームを展開。仲間を応援する人の声が会場中に響いていました。





絆をつないで

9月26日・第11回中間市ボランティアまつり

林律子さんによる講演やボランティア団体のみなさんの交流などがハピネスなかまで行われました。



ほろ酔い気分がいい気分

9月28日・第2回なかまはしご酒大会

2回目となる「なかまはしご酒大会」が開催されました。ルールは指定された3軒をスタンプラリー形式で巡るもの。市内63店舗の協力のもと、約400人の参加者が店舗を巡りました。取材で伺った先々では、参加者が一様に顔を赤らめながら、一緒になった人たちとの会話が盛り上がっていました。



得意の蹴^けりで勝ち続けるぞ

中嶋薫くんが全日本ジュニア空手道選手権大会に出場

底井野小学校1年生の中嶋薫くん(中底井野)が九州地区の予選を見事勝ち抜き、11月28日に東京の代々木体育館で開催されるJKJO全日本ジュニア空手道選手権大会への出場が決まりました。練習熱心で負けず嫌いな中嶋くんは「一生懸命やって、1回でも多く勝ちたい」と意気込みを話してくれました。



枝豆狩って汗かいて

10月11日・枝豆狩り

毎年恒例となっている枝豆狩り。今年は雨天で順延になりましたが、開催日当日はさわやかな秋晴れとなりました。開始時間前には100メートル以上の大行列。受付が始まり畑に入ると、来場者は待ちに待ったとばかりに枝豆狩りに夢中になっていました。



堀川をきれいに

10月9日・堀川清掃

堀川まちおこし事業の一環として、堀川いっせい清掃が行われました。今回の清掃には地域のボランティアのみなさんなど35人が参加。貴重な歴史的遺産である堀川を守るため、参加者が熱心に拾ったごみの量は、2トントラック1台分にもなりました。



これからの図書館は

市民図書館のあり方に関する検討会

「中間市民図書館のあり方に関する検討会(湯浅壱道 座長)」では、平成23年度に予定している市民図書館の改修工事を機に、これからの図書館のあり方について協議してきました。9月27日、同会で協議してきた検討会報告書を吉田孝教育長に提出しました。

もえるごみ搬入量状況

平成22年度のもえるごみ搬入量は、対21年度比5%の減量を目標にしています。ごみの減量化・資源化にご協力をお願いします。

	22年度	21年度	差(22年度-21年度)	減量率
9月	942,120kg	1,020,400kg	△78,280kg	7.7%
累計	6,165,460kg	6,535,020kg	△369,560kg	5.7%

やっちゃん環境

●問合せ 環境保全課 ☎(246)6265

エコライフデーへの参加、ありがとうございました。

6月は環境月間。期間中である13日に、市民環境会議「なかまの環境を良くする会」が、今年で5回目となる「エコライフデーやっちゃんエコライフ! 2010」を実施しました。

これは、あらかじめ配布されたチェックシートを参考に、子どもたちや家族が一日の生活を項目ごとに振り返り、どれだけ二酸化炭素を削減できたかを調べるもの。環境のことや地球温暖化の主な原因である二酸化炭素の削減について、みなさんが考え話し合い、毎日の生活を見直すきっかけになればと、毎年実施しています。

参加、協力していただいた市民のみなさん、ありがとうございました。おかげさまで、無事回収されたシートの集計が終了し、結果を出すことができました。

●昨年より約1,000人増

今回は、昨年の参加実績5、121人を上回る6、174人の参加がありました(参加者本人3,003人(シート回収枚数)とその参加家族の合計人数。配布枚数8,191枚に対し回収率は36.7%)。

これを、中間市民に換算すると9人に1人以上の人が参

加したことになります。

この日、参加者本人だけで削減できた二酸化炭素の量は、「いつも」取り組んでいるエコライフ項目の合計で約449kg、「きょう」取り組んだ項目の合計で約125kg、総計で約574kgとなります。

この削減量は、中間市全世帯(約2万世帯)が、一斉にテレビを約54分間消したときの量に相当します。

●エコライフで

二酸化炭素を減らそう

中間市においても将来、家庭からの二酸化炭素の増加が見込まれます。家庭での節電、節水などの省エネやごみの分別など、まずは、身近で気がつくところからエコライフを始めていきましょう。

●小学生から寄せられた

感想を紹介します

- いつもはゲームをしているけど、今日はしなかった。その代わりに本を読んだ。意外と楽しくて落ちついて過ごせた(5年生女子)
- テレビを見ないのを初めてやった(3年生女子)
- お昼から8時間テレビをつけずに本を読むなどして、過ごしました(2年生男子)
- 自分ができることをこまめにやるのが大切とわかった(1年生男子)



はばたけ! 市民活動

～ちいさな力を集めて、まちづくり～



読み聞かせボランティア おはなし玉手箱

私たちは、中間西小学校で絵本の読み聞かせをしています。約10年前、PTA役員5人が中心となって活動をスタートさせ、現在は11人の保護者が月3回、朝読の時間に1年生から4年生を対象に活動しています。わずかな時間ですが、授業参観のときは違った子どもたちの楽しそうな顔や、無邪気な笑顔に出会える、この貴重な時間が、とてもうれしく思えます。これからも、子どもたちが本に興味をもつきっかけになれるよう続けていきたいです。

●問合せ ボランティアセンター ☎(246)2184

NO 悪質商法

地上デジタル放送に便乗した悪質商法にご用心

平成23年7月で、地上アナログ放送が終了し、地上デジタル放送(地デジ)に切り替わります。

最近、この切り替えに便乗した悪質商法の被害が全国各地で増えています。ご注意ください。

例業者が来宅し、アナログ放送が10年延長できる工事を3千円ではないかと勧誘された。▼アナログ放送を延長できる工事が行なわれる

●消費生活相談窓口

☎(246)5110

ことはありません。

例地デジ普及のため3千円必要と業者が来宅し、後日、集金に來ると説明された。▼行政機関や放送事業者が自宅を訪問して工事を理由に金銭を要求することはありません

一人だけで判断せず、契約を急がず、家族や信頼できる近くの電器店などに相談しましょう。

●地デジの相談は…当窓口もしくは、総務省地デジコールセンター(ボ福岡) ☎092(303)0101

くらしの 情報

Information

第1回中間市中学校 英語暗唱大会

中間市では、英語暗唱をと
おして、生徒の英語学習に対
する興味・関心の喚起と、表
現力の向上をめざし、より積
極的にコミュニケーションを
図ろうとする態度を育成する
ことを目的として、大会を開
催します。

- 市内4中学校の各学年代表
による初めての英語暗唱大会
に、ぜひご来場ください。
- 日 時 12月4日(土)・午
前9時15分
- 場 所 中央公民館
- 問合先 学校教育課
☎(246)6223

献血にご協力お願いします

中間ライオンズクラブの主
催、中間市婦人会・国際ソロ

プチミスト中間の協賛で、献
血を実施します。

- 日 時 11月29日(月)・午
前10時～午後4時
- 場 所 ショップパーズモ
ールなかま
- 問合先 北九州赤十字血
液センター
☎(631)1211

第4回夢のつばさ アイフェスタ2010

障害者も健常者ともに楽
しめるお祭りです。みなさん
お気軽にご参加ください。

- 日 時 12月5日(日)・午
前9時30分～午後2時30分
- 場 所 ハピネスなかま
- 内 容 ユニバーサルデ
ザイン専門家の竜口隆三さん
(西日本工業大学教授)講演
会、バザー、疑似体験など
- 参加料 無料
- 問合先 中間市視覚障害
者の会つばさの会
☎(244)6272

あすばる男女共同参画 フォーラム2010

福岡県男女共同参画センタ
ーでは、「生きる、働く、つな
がる社会へ」をテーマに、基調
講演やシンポジウム、ワークシ
ョップ、バザー、ふるさと産直
ふれあい市など、楽しくて学べ
る多彩な催しを行います。

● 期 日 11月27日(土)～28
日(日)・午前10時～午後4時

- 会 場 クローバープラザ
(春日市原町三丁目1・7)
- 問合先 福岡県男女共同
参画センターあすばる
☎092(584)1261

芦屋基地モニター募集

航空自衛隊および芦屋基地
に対するご意見、提言などを
お聴きするため、基地モニタ
ーを募集します。

- 対象者 20才以上の人
(議会議員および常勤公務員
は除く)で、防衛問題および
自衛隊に関心があり、公正
で建設的な意見を述べてい
ただける人、また、平日の
研修などに出席可能な人
- モニター期間 1年間(平
成23年4月～平成24年3月)
- 定 員 10人
- 申込方法 往復はがきに、
郵便番号、住所、氏名(ふり
がな)、生年月日、職業、電
話番号および申込理由を記
入のうえ、12月17日(金)必着
※個人情報などの取り扱い、
十分注意し管理します。
- 申込・問合先 航空自衛隊
芦屋基地基地渉外室
(〒807-0133芦屋町大字
芦屋1455・1)
☎(223)0981

犬のしつけ方教室を 開催します

11月は「ドッグマンス」です。
「ドッグマンス」とは、犬を
飼っている人も、飼っていな
い人も、私たちの身の回りに
いる犬のことを考えようとい
う期間です。この期間、各地
で多彩な催しが行われます。

- 宗像・遠賀保健福祉環境事
務所では、犬と飼い主との信
頼関係を築くために、「犬のし
つけ方教室」を開催します。
- 日 時 11月27日(日)・午
後1時30分～3時30分(受付
は午後1時)
- 場 所 福岡県宗像総合庁
舎(宗像市東郷二丁目2・1)
- 内 容 犬や猫のしつけ
方や、困っていることを講
習とモデル犬の実技で対処
法などを説明します
- ※犬の同伴はできません。
- 申込締切 11月26日(金)
- 申込・問合先 福岡県宗像・
遠賀保健福祉環境事務所
☎0940(36)6098

看護職員などの業務従事者は 届け出が必要です

保健師、助産師、看護師、
准看護師、歯科衛生士および
歯科技工士で、これらの免許
にかかる業務に従事している
人は、2年ごとに、住所や氏

名などを届け出ることが法律
で義務づけられています。

該当する人は、所定の用紙
を勤務地の県保健福祉環境事
務所または北九州市、福岡市、
大牟田市、久留米市の各保健
所へ届け出てください。

届出用紙は、県保健福祉環
境事務所または各保健所に置
いてあります。また県ホーム
ページからもダウンロードで
きます。

- 提出期限 平成23年1月17
日(日)
- 福岡県ホームページ
<http://www.pref.fukuoka.jp>
- 問合先 福岡県保健医療
介護部医療指導課
☎092(643)3276

指名手配犯人 逮捕にご協力を

11月は全国指名手配被疑者
捜査強化月間です。この期間
は特に、全国警察の総力を挙
げて指名手配犯人を追跡捜査
します。

犯人逮捕のためには、みな
さんのご協力が必要です。「指
名手配ポスターに似ている人
物を見かけた」といった情報
など、ささいなことでも構い
ませんので、警察に通報して
ください。

- 問合先 折尾警察署
☎(691)0110

福岡県の最低賃金が 改正されました

標語

「必ずチェック、最低賃金！
使用者も、労働者も」

福岡県の最低賃金

1時間 692円

効力発生日 10月22日

※詳しくは福岡県労働局、または北九州西労働基準監督署（☎(622)6550）へお尋ねください。

問合せ先 福岡県労働局労働基準部賃金課

☎092(411)4578

無料調停相談会を開催 します

●日 時 11月30日 前10時～午後3時

場 所 八幡西区役所

(八幡西区筒井町15・1)

相談担当者 裁判所の民事調停委員および家事調停委員

相談事項

○民事関係、消費者金融、通信販売、金銭貸借、売買など
○取引、家賃・地代、交通事故、近隣関係など

○家事関係、離婚、遺産分割、夫婦・親子の問題

相談料 無料

※事前の申し込みは不要です。
当日受付順で相談をお受けします。

問合せ先 小倉調停協会福岡地方裁判所小倉支部内

☎093(561)3431

税務署からのお知らせ

相続、贈与などで、取得した生命保険契約や損害保険契約などに係る年金の所得税の取り扱いが変更となりました。この変更で、所得税の還付を受けることができる場合があります。

詳しくは、国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp>)をご覧ください。若松税務署にお問い合わせください。

問合せ先 若松税務署

☎(761)2536

戦後強制抑留者の みなさんへ

シベリア戦後強制抑留者への特別給付金の請求受付が、10月25日から始まりました。

●対象者 戦後強制抑留者で6月16日に日本国籍を有するご存命の人

●受付締切 平成24年3月31日

※請求書類をお送りしています。まだ届いていない場合は、お問い合わせください。

受付時間 午前9時～午後6時

※土曜・日曜日、祝日は受け

付けできません。

問合せ先 独立行政法人平和祈念事業特別基金

☎0570(059)204

※IP電話、PHSの場合

☎03(5860)2748

全国一斉 労働トラブル110番

賃金未払い、サービス残業、職場内のセクハラや解雇など、労働をめぐるトラブルの相談に司法書士が応じます。

●日 時 11月23日 前10時～午後4時

●相談方法 電話相談(無料)

●相談電話番号

☎092(722)4131

●問合せ先 福岡県司法書士会

☎092(722)4131

第7回成年後見人講座

後見人になっている人、これから後見人になろうと予定している人を対象に、後見人としての心構えや普段の仕事、後見人でもできないこと、やってはいけないことなど、わかりやすく説明します。

なお、受講は予約制になっていますので、事前に申し込みが必要です。

また、本講座終了後、成年後見に関する相談会を開催します。相談を希望する場合に

は、予約の際に申し出てください。

●日 時 12月4日 午後1時～午後3時

●会場 中央公民館

参加費 無料

●申込・問合せ先 社団法人成年後見センター・リーガルサポート福岡支部事務局

☎092(738)1666

無料HIV迅速検査を 実施します

12月1日の世界エイズデーに合わせて、無料HIV迅速検査を実施します。

エイズは特別な病気ではありません。だれにでも感染する可能性があります。感染しているかどうかは検査をしないとわかりません。

不安に思っていることがあれば、相談・検査をしてください。

●日 時 12月6日 前9時～11時、午後1時～4時

●場 所 宗像・遠賀保健福祉環境事務所遠賀分庁舎

(水巻町吉田西二丁目17・7)

※事前に電話予約が必要です。

匿名でもかまいません。

※検査の約1時間後には結果が判明します。

申込・問合せ先 宗像・遠賀保健福祉環境事務所

☎0940(36)6098

備えてあんしん 老後用意 **ローゴヨーイ・ドン!** 福岡県 国民年金基金

国民年金にゆとりをプラス。自分で入る公的な個人年金

老後までトク ●掛金は全額所得控除 ●掛金は自由に設定

老後からラク ●基本は終身、だから一生お受け取り ●万が一の時は一時金も

自営業、フリーランスの方など、国民年金の保険料を納めている60歳未満の方(国民年金の第1号被保険者)がご加入できる公的な年金制度です

資料請求・ご相談・お問い合わせは フリーダイヤル ローゴ ヨイクニ **0120・65・4192**

お気軽に今すぐこちらへ! <http://www.fukuokakikin.or.jp>

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目1番1号(博多新三井ビル11階) TEL 092-413-8713 FAX 092-414-5502

広告

買地谷しほり 2009年 加入しました

有料広告欄

無料相談コーナー

～気軽にご利用ください～

心配ごと相談

■場所 ハピネスなかま

○日時…12月4日(土)、17日(金)、22日(木)・午後3時～5時(前日まで窓口で予約受付・受付時間は月曜日～金曜日の午前9時～午後5時・定員10人)

●問合せ 中間市社会福祉協議会 ☎(244)1230

県巡回交通事故相談

■場所 ハピネスなかま

○日時…12月8日(木)・午前10時～午後4時(受付は午後3時まで)

●問合せ 総合まちづくり課 ☎(246)2017

行政相談

■場所 ハピネスなかま

行政への苦情・要望などの相談に応じます。
○日時…12月4日(土)、17日(金)・午後3時～5時

●問合せ 総務課 ☎(246)6232

補聴器相談

■場所 介護保険課・ハピネスなかま

○日時…毎月第1～4火曜日・午後1時～2時…介護保険課(市役所1階)、午後2時30分～3時30分…ハピネスなかま

●問合せ 介護保険課 ☎(246)6282

消費者相談

■場所 産業振興課(市役所別館2階)

悪質商法などでお悩みのときはご相談ください。
○受付 月曜日～金曜日・午前9時～午後4時

●問合せ 消費生活相談窓口 ☎(246)5110

家庭児童相談

■場所 家庭児童相談係(市役所3階)

子どもの養育(しつけ、養育者の問題)など児童に関する相談をお受けします。

○受付 月曜日～金曜日・午前9時～午後5時

●問合せ こどもと福祉の課 ☎(246)3515

悩み・いじめ・教育相談

■場所 少年相談センター(働く婦人の家)

未成年者の非行などに関する相談はこちら。
○受付 月曜日～金曜日・午前9時～午後5時

●問合せ 少年相談センター ☎(246)0484

女性のための悩みごと相談

■場所 人権男女共同参画課(人権のまちづくりセンター)

あなたが納得のいく生き方ができるようお手伝いします。

○受付 月曜日～金曜日・午前8時30分～午後5時15分

●問合せ 人権男女共同参画課 ☎(245)7801

放送大学 4月入学生募集

放送大学は、衛星放送(CS)を利用して授業を行う、国がつくった通信制の大学です。
心理学・福祉・経済など幅広い分野の科目を1科目から自宅のテレビで学べます。
15歳以上(全科履修生は18歳以上)であればだれでも入学でき、学士(教養)の学位がとれます。短大、専門学校などからも編入学できます。
入学のチャンスは年2回(4月と10月)です。大学院もあります。

●募集期間 11月15日(木)～平成23年2月28日(木)

※資料請求など詳しくはお問い合わせください。

●問合せ 放送大学福岡学習センター
☎092(473)1365

陸上自衛隊高等工科大学 生徒募集します

平成22年度陸上自衛隊高等工科大学の生徒を募集します。
詳しくは、お問い合わせください。

●受付期限
○一般 平成23年1月7日(金)

●推薦 平成23年1月6日(木)

●応募資格 平成23年4月1日現在、15歳以上17歳未満(平成6年4月2日から平成8年4月1日までの間に生まれた人)の男子で、中学校卒業者または中等教育学校の前期課程修了者(平成23年3月に中学校卒業または中

等教育学校の前期課程修了見込の人を含む)

●問合せ 自衛隊福岡地方協力本部芦屋地域事務所
☎(223)0981

就職サポートセミナーを開催します

仕事や生き方を模索している人にお勧め。困難を乗り越え、新しいスタート事業を開始する人、さらには新しく役に立つサービスを追求する白木淑子さん(有限会社キッズ・プランニング)のチャレンジストーリーを聞いてみませんか。

●日時 11月26日(金)・午後1時30分～3時30分

●場所 北九州市立男女共同参画センター1階(北九州市小倉北区大手町11-4)

●対象者 働きたい女性、働く女性など

●定員 70人

●参加費 無料

●申込締切 11月19日(先着順)

※託児があります。要予約。

●申込・問合せ 福岡県北九州労働者支援事務所
☎(592)3507

多重債務者無料相談

借金でお悩みの人は気軽に相談ください。相談無料、秘密は厳守します。

●相談電話番号
☎092(632)0999

●問合せ 福岡県多重債務問題対策協議会事務局
☎092(632)1600

広報なかまに 有料広告を掲載しませんか?

◆契約料金
1契約につき
一口30,000円×3ヵ月= **90,000円**

※1契約は最低3ヵ月からとなります。

6ヵ月以上のご契約の場合、契約料金の割引があります

広報なかまでは、事業所の有料広告を募集しています。広報紙で会社をPRしてみませんか。

■問合せ
中間市役所 総務課広報広聴係
〒809-8501
福岡県中間市中間一丁目1-1
☎093(246)6271・FAX 093(245)5598
mail: koho@city.nakama.fukuoka.jp

有料広告欄

◆有料広告掲載のお問い合わせは、総務課広報広聴係 ☎(246)6271



みんなのひろば

このページは、みなさんでつくるコーナーです。イラストやマンガ、エッセイ、お知らせなどをお待ちしています。はがきで広報広聴係までご連絡ください。



◆若い人のアレンジお節教室

伝統のお節をアレンジして、簡単にできるメニューです。

みなさんの参加をお待ちしています。

●日時 11月25日(日)・午前9時30分～午後1時

●場所 保健センター

●参加料 800円(材料費)

●持ってくるもの エプロン、三角布、筆記用具

●申込締切 11月20日(土)

●申込・問合先 中間市食生活改善推進会八木携帯

☎080(5248)7211

◆傾聴力を養うために講演会を開催します

●日時 11月26日(金)・午前10時～正午

●場所 中央公民館

●テーマ 地域の傾聴力を養おう～地域の人びとの心を受け止

めるために

●講師 富安兆子さん(高齢社会をよくする女性の会代表)

●参加料 無料

●問合先 中間市老人クラブ連合会

☎(245)8432

◆ボランティア活動団体の会員を募集します

次の団体の会員を募集します。

看護師支援の会

看護師さんたちの自立と社会参加を目的に活動しています。

医療や介護現場から離れている人が、不安なく職場復帰できるように就職支援や相談支援を行っています。

介護や医療現場からのニーズに応えるため、資格を持っている人の登録をお待ちしています。

なかま音訳の会

視覚障害者に広報紙や図書などの音訳を行っています。

Cooking

今月のおすすめ料理



ブロッコリーと鶏肉のからし和え

材料(4人分)

ブロッコリー…250g、鶏むね肉…100g、塩…小さじ1/2、パプリカ…大1/4個、A(溶きがらし…大さじ1/2、砂糖…大さじ1、しょうゆ…大さじ1)

作り方

- ①ブロッコリーは根元を少し落とし、小さく分けてゆでる
- ②鶏肉は塩をすり込み、小鍋に水1/2と酒大さじ1/2(分量外)を煮立てた中に入れ、4～5分蒸し煮して、そのまま冷まして細く裂く
- ③パプリカは皮を黒く焼き、冷水に取り、皮をむいて細切りする
- ④Aを合わせて、①②③をあえる

エネルギー 86kcal 食塩 1.3g

中間市食生活改善推進会(緑の会)

た、さよならはダンスのあとに など

●問合先 後藤宅

☎(245)1679

◆「ちびっこ冒険学校楽しさ丸ごと冬体験in北海道」

今年の冬休みは、北の大地・北海道で、楽しさ丸ごと冬体験をしてみませんか。

●期 間 12月25日(土)～31日(金)

●場 所 北海道一周

●対 象 小学2年生～6年生

●内 容 全国から参加する友だちとの交流体験、カーリング体験、野外活動体験、酪農体験、自然探検など

●定 員 20人(先着順)

●申込締切 12月10日(金)

※参加料など詳しくはお問い合わせください。

●申込・問合先 財団法人国際青少年研修協会

☎03(6459)4661

◆「女声コーラス歌音」

10周年記念コンサート

多くのみなさんにご来場いただきますよう、団員一同、心からお待ちしております。

●日時 12月5日(土)・午後2時開演(開場は1時30分から)

●場 所 なかまハーモニーホール

●入場料 900円

●演奏曲目 きみ歌えよ、夕焼け、アヴェマリア、ピチカート・ポ

ルカ、あの鐘を鳴らすのはあな

た、さよならはダンスのあとに など

ホンのムシ

●問合せ 市民図書館 ☎(245)4664

●今月のおすすめ図書●



いちばんあいされてるのはぼく

宮西達也・作絵

むかし、むかし、大むかし。ティラノサウルスがひろった卵から、5匹のアンキロサウルスのあかちゃんが生まれました。小さなあかちゃんたちを見て、ティラノサウルスは…。父と子の深い愛の物語。ティラノサウルスシリーズ第9弾。



僕が出会った作家と作品

五木寛之・著

選ぶ側が試される。文学賞の選考は真剣勝負だ。新人賞から直木賞、乱歩賞、鏡花賞、そして木村伊兵衛賞まで。著者が40年にわたって書き続けた選評の集大成。

●おはなし会●

- 日時 11月20日(日)・午前11時～
- 内容 絵本の読み聞かせなど
- 協力 遊！遊！読書

わが家のすこやかちゃん



おばた なつ ちゃん
小畑七都ちゃん
平成21年7月27日生(中央三丁目)

小さくても元気いっぱいになったちゃん。歩くのも速くてびっくりです！これからもその笑顔でみんなを癒してね♥



おばた ひめ ちゃん
小畑陽愛ちゃん
平成19年11月11日生(中央三丁目)

太陽のように明るくて元気なひめちゃん。おしゃべりも上手になったね。七都のお世話、いつも本当にありがとうね♥

編集後記

▶今回の表紙で使用したリボンと地球儀。地球儀は実家から拝借し、リボンは100円ショップで購入しました。いざ地球儀にリボンを巻こうとしたところ、まったく手に負えませんでした。リボン片手に悪戦苦闘する、私の姿に見かねた職場の同僚。あつという間にきれいに仕上げてくださいました。わかっていたことですが、改めて自分の不器用さを痛感しました。(謙)

◆ NPO法人南陵塾 子ども太鼓教室生徒募集

「和太鼓を通じての子どもと大人との交流」「同じ目標を持った仲間づくり」「太鼓の楽しさを体験」を目的に活動しています。

見学・体験入会を随時行っていますので、興味・関心がある人はお気軽に連絡してください。

●開催日時 毎週水曜日・午後5時30分～6時45分

●場所 中間市生涯学習センター

●内容 太鼓の基本動作や演奏曲の練習、太鼓の演奏会など

●問合せ NPO法人南陵塾事務局

☎0949(42)6571

◆ いのちのたび博物館秋の特別展 禅寺広寿山の名宝

広寿山福聚寺は、小倉藩主小笠原忠真が中国の僧即非如一を開山に迎え創建した黄檗宗の寺院です。本展では、

同寺に所蔵される名宝のうち、藩主の遺愛品など、初公



開作品を含む70件あまりを一挙公開します。

●会期 11月28日(日)まで

●開館時間 午前9時～午後5時(入場は4時30分まで)

●場所 北九州市立いのちのたび博物館

(八幡東区東田二丁目4・1)

●観覧料 大人300円(240円)、高・大生200円(160円)、小・中生100円(80円)

※小学生未満は無料です。()内は団体30人以上の料金です。

●問合せ 北九州市立いのちのたび博物館

☎(681)1011

◆ 洞山保存会秋の講演会

崩落する洞山を緑豊かな洞山に復元すること、郷土史と文化を学ぶことを目的に、秋の講演会を開催します。みなさんの参加をお待ちしています。

●日時 11月24日(日)・午前10時～正午

●場所 安養寺(芦屋町中ノ浜)

●講師 ○富士原瑞城さん(安養寺住職) ○舌間信夫さん(郷土史研究家)

●参加料 無料

●問合せ 洞山保存会妹川宅 ☎(222)2588

文芸歳時記



→大八木穂子さん(中底井野・作)

俳句

末永 あつし 選

新涼や豆腐屋の笛聞へ来る

通谷一丁目

石松 梅子

溪流の色鳥しきり鳴くことも

扇ヶ浦四丁目

樋口 カナエ

日の匂ひ包みて落つる紅芙蓉

扇ヶ浦二丁目

宮崎 サカエ

故郷の香りの梨の届きけり

上底井野

小林 香子

冬瓜にレシビを添へて送りけり

小田ヶ浦一丁目

広松 律子

短歌

中間市短歌会

立花 勲 選

熊蟬はいきなりなりをひそめたりその後に来る雷雨を知りてか

弥生二丁目

吉田 千歳

かがり火の燃える焔に浮き出され折尾神楽の勇壮な舞い

岩瀬四丁目

吉岡 比呂己

佐賀平野実る穂波のあざやかに刈り入れの秋豊作祈る

土手ノ内一丁目

岡本 マキ子

送られし封書は女孫のプレゼント由布院の旅セットされおり

中央三丁目

掛田 清香

クーラーの部屋を出でたる温度差の和らぐとみし秋の兆すや

朝霧二丁目

上山 昭子

川柳

吉富 廣 選

行き先が不明にならぬほどに生き

弥生一丁目

成重 広志

百選の名水誇る同じ雨

中間三丁目

仁禮 秀子

久しぶり会うと白髪がふえた友

通谷四丁目

平田 照子

のら犬にあめ玉やれば吐き捨てた

弥生二丁目

橋口 啓子

断酒三日もうよかろうと脳の声

中間三丁目

古野 つとむ

表紙説明

人と人とのつながりを生み、地域と人をつなぐボランティア活動。今回の特集で出てきた「結ぶ」「つながる」という言葉にかけて、スケールは大きく、地球全体をリボンで結んでみました。

■「広報なかま」の配布は発行日から開始します。みなさんのお手元に3日以内でお届けできるようにしています

■発行 福岡県中間市役所 ■編集 総務課広報広聴係
〒809-8501 福岡県中間市中間一丁目1番1号

TEL 093(244)1111 FAX 093(245)5598

■ <http://www.city.nakama.fukuoka.jp/>

■ webmaster@city.nakama.fukuoka.jp

■今回の「広報なかま」にかかった経費は1部約37円です